

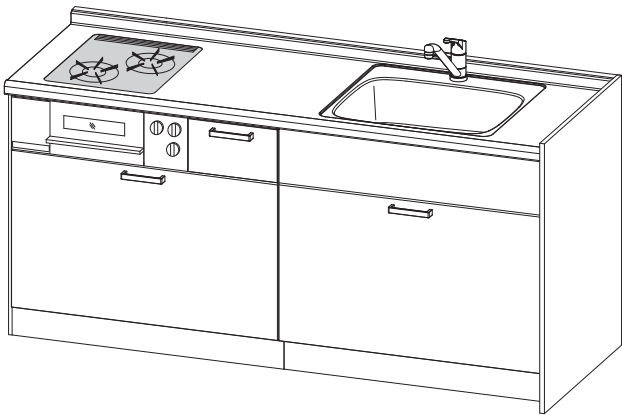
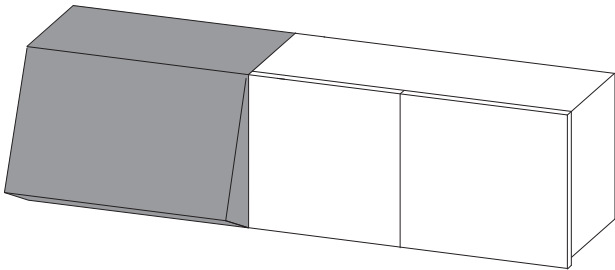


# コンパクトキッチン 取扱説明書 保証書付

コンパクトキッチン

# colty

コルティ



このたびは、クリナップ商品をご購入いただきまして誠にありがとうございます。  
この取扱説明書は、商品を安全に長い間ご使用いただくために、注意事項やお手入れ方法についてまとめたものです。  
ご使用前に必ずお読みいただき、以後も手近に保管し、ご活用ください。

ご利用の前に	2
- もくじ	3
安全上の注意	6
キッチン全体の使い方	12
調理アイテムの使い方	14
収納アイテムの使い方	
- キャビネット	20
- 吊戸棚	24
その他の部材	25
こんなときは	26
保証書	27



※左のコードは、下記の番号を意味しています。  
商品に関する情報にはアクセスできません。

W103179000

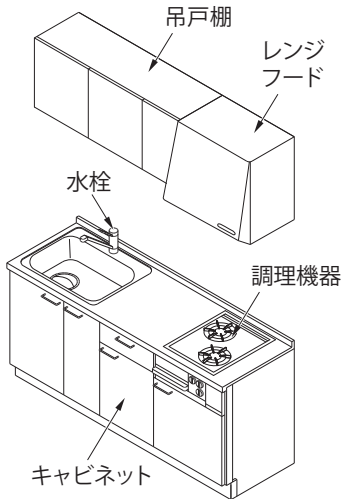
# 1. ご利用の前に

## 1.1. 各アイテムのなまえ

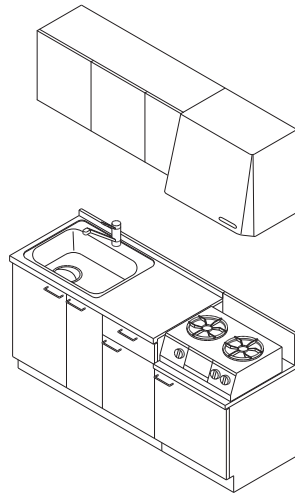
下図は、キッチンセットの参考図です。商品・種類によって左右勝手・扉・シンクなどが異なります。

### ● キッチンセットの参考図

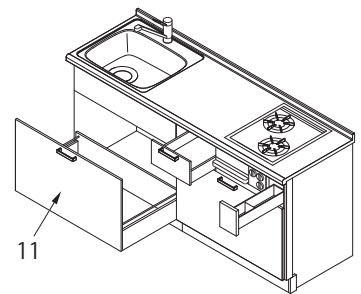
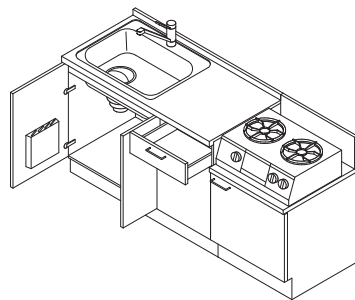
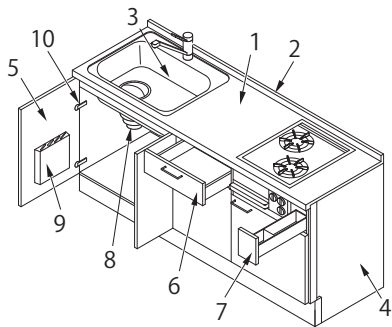
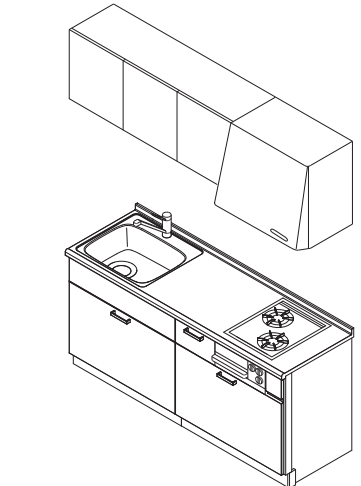
〈ベーシックタイプ〉



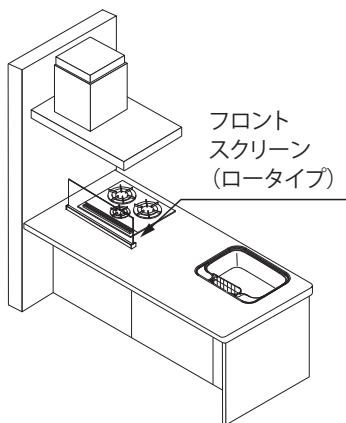
〈フリーコンロタイプ〉



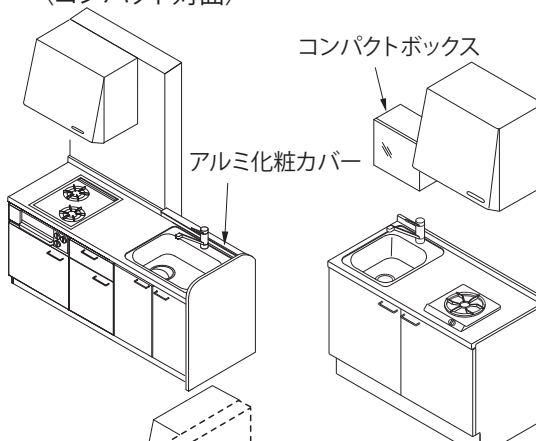
〈けこみ付スライドタイプ〉



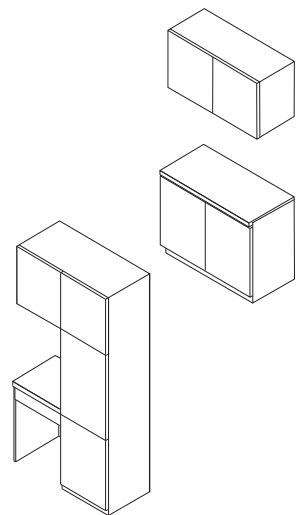
〈フラット対面〉



〈コンパクト対面〉



〈周辺収納〉



- 1・・・ワークトップ
- 2・・・バックガード
- 3・・・シンク
- 4・・・側板
- 5・・・扉
- 6・・・樹脂引出し
- 7・・・コンロ横引出し
- 8・・・排水トラップ
- 9・・・包丁差し
- 10・・・丁番
- 11・・・スライド収納引出し

サイド化粧板  
バックパネル

## ● 本書について

- キッチンには様々な形状のものがあるため、お客様がご利用の商品と異なる場合があります。
- 本書では、使用上支障のない範囲で略図を使用しています。
- シンクやキャビネットなどのアイテムごとに構成しています。各アイテムに関するページには、「使用上の注意」「お手入れのしかた」などの情報を記載しています。
- 「Q&A」にはお客様からよくあるお問い合わせをまとめています。疑問点、不明点がある場合にご覧ください。

<b>1. ご利用の前に</b>	
1.1. 各アイテムのなまえ . . . . .	2
1.2. お手入れスケジュール . . . . .	4
1.3. 定期的な点検 . . . . .	5
<b>2. 安全上の注意</b>	
2.1. 安全上の注意 . . . . .	6
2.2. 重量に関する規定 . . . . .	11
<b>3. キッチンの使い方</b>	
3.1. キッチン全体 . . . . .	12
<b>4. 調理アイテムの使い方</b>	
4.1. ワークトップ (カウンター類を含む)・シンク . . .	14
4.2. 排水口周り . . . . .	18
<b>5. 収納アイテムの使い方ーキャビネット</b>	
5.1. 包丁差し . . . . .	20
5.2. キャビネット (引出し). . . . .	20
5.3. 開き扉・棚板 . . . . .	21
<b>6. 収納アイテムの使い方ー吊戸棚</b>	
6.1. コンパクトボックス . . . . .	24
<b>7. その他の部材</b>	
7.1. フロントスクリーン . . . . .	25
7.2. CA ボード. . . . .	25
<b>8. こんなときは</b>	
8.1. Q & A . . . . .	26
保証書 . . . . .	27

# 1. ご利用の前に

## 1.2. お手入れスケジュール

### ● お手入れスケジュールのすすめ

- 毎日使うキッチンには、こまめなお手入れが欠かせません。次のスケジュールを参考に、お客様の生活に合わせたお手入れ計画を立ててください。
- 調理機器、レンジフード、水栓などの関連機器商品について詳しい内容は、各機器に付属の説明書をご覧ください。

#### 年間お手入れスケジュール例

期間	お手入れ内容
毎日	<ul style="list-style-type: none"><li>• ワークトップ（カウンター類を含む）：水滴などの軽い汚れを拭き取る。</li><li>• シンク：スポンジに中性洗剤をつけて洗う。</li><li>• 排水口：浅型カゴまたはゴミカゴにたまったゴミを捨てる。</li><li>• 引出し前板・開き扉・側板：水滴や油汚れを拭き取る。</li><li>• 調理機器のトッププレート：煮こぼれや水滴などの軽い汚れを拭き取る。</li><li>• 調理機器のグリル：使用后、油汚れを中性洗剤につけたスポンジで洗う。</li><li>• レンジフード：手の届く範囲の汚れを拭き取る。</li></ul>
週一度	<ul style="list-style-type: none"><li>• ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク：メラミンフォームやスポンジに中性洗剤をつけて洗う。</li><li>• 排水パイプ（ホース）：防臭器（シンク間口 120cm以下の場合はゴミカゴまで）を取り外して、中までしっかり洗う。洗い桶に1～2杯（5～10ℓ）のぬるま湯をため、台所用中性洗剤を混ぜて薄めた後、勢いよく流す。</li><li>• 水栓金具：水滴などの軽い汚れを拭き取る。</li><li>• ガスコンロのゴトク：こびりつき汚れを洗う。</li><li>• 引出し前板・開き扉・取っ手：汚れを中性洗剤で拭き取った後、乾拭きする。</li><li>• 壁パネル：油はねなどの汚れを中性洗剤につけたスポンジで洗う。</li></ul>
月一度	<ul style="list-style-type: none"><li>• 排水口：排水プレート～防臭器（シンク間口 120cm以下の場合は排水フタ・ゴミカゴ）を取り外して排水パイプ用洗剤を、排水パイプ（ホース）に注ぎ、洗浄する。洗浄後は、十分に水を流す。</li><li>• レンジフード：フィルターなどを中性洗剤につけたスポンジで洗う。</li></ul>
半年～年一度	<ul style="list-style-type: none"><li>• レンジフード：ファンを取り外して洗う。 ファンを取り外さないものもあるので、詳しい内容は付属の説明書をご覧ください。</li></ul>

**MEMO** 洗剤の使い方によっては手荒れの原因になります。ゴム手袋をはめるなど、気をつけてご利用ください。

#### 気づいたらすぐに

次のような場合、気づいたときにすぐに対処するようにしてください。

- シンクやワークトップの水あかの付着やもらいサビがあった場合、すぐに対処してください。

**参照** 4.1. ワークトップ（カウンター類含む）・シンク P.14～17、8.1.Q&A P.26

- ガスコンロのバーナーキャップに目詰まりがある場合、すぐに対処してください。
- 水の出が悪くなった場合、水栓のストレーナー（ろ過用の金具）をチェックしてください。

**参照** ガスコンロ、水栓金具について詳しい内容は各機器に付属の説明書をご覧ください。

- 汚れを見つけたら、すぐに拭き取ってください。そのまま放置すると、汚れが取りにくくなります。
- 床にこぼれた水はこまめに拭くようにしてください。

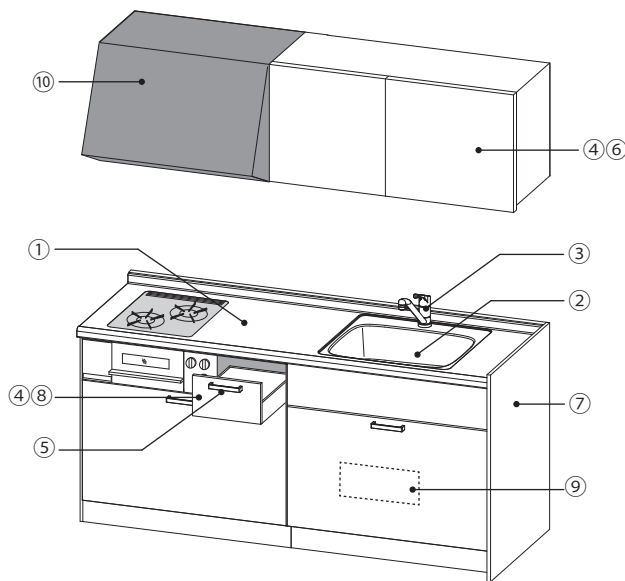
# 1. ご利用の前に

## 1.3. 定期的な点検

### 定期的な点検のすすめ

商品は長期間ご利用いただくことで、経年劣化してきます。安全にお使いいただくために、定期的に水漏れ点検と安全点検を行ってください。水漏れ点検は月一度、安全点検は年一度が目安です。水漏れがあった場合、元栓や止水栓を締めてから、速やかにクリナップカスタマーセンターへご連絡ください。また、使用時に、部品が破損・脱着したり、ゆるんだりしている場合は、速やかにクリナップカスタマーセンターに修理を依頼してください。そのまま放置していると思わぬ事故の恐れがあります。

**参照** アフターサービスのご用命 裏表紙



点検箇所	点検の種類	点検方法	症状	想定される被害
①ワークトップ・シンク	水漏れ点検	ワークトップ、シンクに穴開きやひび割れがないか確認してください。	穴開きやひび割れ	水漏れによる家財等の破損、破損部接触によるケガ
②排水器具	水漏れ点検	キャビネットの扉・引出しを開ける、または引出しを外して、水漏れがないか確認してください。	排水接続部のゆるみ、破損	水漏れによる家財等の破損
③水栓金具	水漏れ点検	水栓金具を操作して、本体やレバーにガタつきがないか確認してください。	本体やレバーのガタつき	水漏れによる家財等の破損
	安全点検	レバーを操作して温度調節が適正にできるか確認してください。	温度調節ができない	熱湯によるやけど
	安全点検	水栓金具本体やシャワーヘッド、レバーなどのめっき部にはがれがないか確認してください。	めっき部のはがれ	はがれためっき部によるケガ
④扉	水漏れ点検	キャビネットの扉・引出しを開ける、または引出しを外して、水漏れがないか確認してください。	キャビネット内の配管、接続部、シャワーホースの水漏れ	水漏れによる家財等の破損
	安全点検	扉を開閉して、変形やガタつき、異音がないか確認してください。	変形やガタつき、異音	落下によるケガおよび家財等の破損
⑤取っ手	安全点検	扉の表裏面にひび割れやはがれがないか確認してください。	ひび割れや表面のはがれ	破損部接触によるケガ
	安全点検	取っ手のめっき部にはがれがないか確認してください。	めっき部のはがれ	はがれためっき部によるケガ
⑥吊戸棚	安全点検	取っ手のめっき部にはがれがないか確認してください。	めっき部のはがれ	はがれためっき部によるケガ
	安全点検	吊戸棚が正常に取り付けられているか、ガタつきがないか確認してください。	本体の変形、ガタつき	落下によるケガおよび家財等の破損
⑦キャビネット	安全点検	棚板が正常に取り付けられているか、ガタつきがないか確認してください。	棚板の変形、ガタつき	落下によるケガおよび家財等の破損
	水漏れ点検	キャビネットの扉・引出しを開ける、または引出しを外して、水漏れがないか確認してください。	キャビネット内で水が漏れている	水漏れによる家財等の破損
⑧引出し	安全点検	引出しが変形していないか、ガタつきがないか確認してください。	変形やガタつき	落下によるケガおよび家財等の破損
⑨包丁差し	安全点検	包丁差しにガタつきがないか確認してください。	ガタつき	包丁差しおよび包丁自体の落下によるケガ
⑩レンジフード	安全点検	レンジフードの幕板、整流板、フィルターなどにガタつきがないか確認してください。	幕板、整流板、フィルターの変形やガタつき	落下によるケガおよび家財等の破損

点検の結果、不備があった場合は、クリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

**参照** アフターサービスのご用命 裏表紙

## 2. 安全上の注意

# 2.1. 安全上の注意

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



### 警告

この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡や重症を負う恐れがある内容」が記載されています。



### 注意

この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が生じる恐れがある内容」が記載されています。



禁止

この行為は禁止されています。



注意

この行為は、注意が必要です。



必ず実行

この行為を必ず実行してください。



接触禁止

特定の条件で特定の場所に触れると、傷害が起こる可能性があります。



発火注意

特定の条件で発火の恐れがあります。



ぬれ手禁止

製品をぬれた手で扱うと感電する恐れがあります。



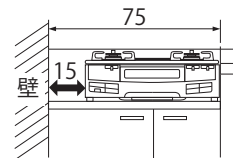
### 警告



必ず実行

フリーコンロタイプ・間口75cmの調理機器台の場合で、横壁面が防火上の措置が施されていないときは、調理機器を壁から15cm以上離して設置する。

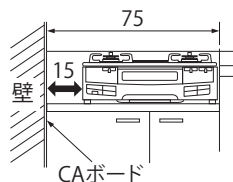
離していない場合は、熱で表面が変色したり、火災の原因になります。



必ず実行

フリーコンロタイプ・間口75cmの調理機器台の場合で、横壁面がCAボードで仕上げられているときは、調理機器をCAボードから15cm以上離して設置する。

離していない場合は、熱で表面に変色やふくれが生じる恐れがあります。



禁止

ワークトップより低い調理機器を設置しない。

調理機器の熱により、キャビネットなどが加熱され、火災の原因になることがあります。



発火注意

電源コンセントの表示容量（ワット）を超える電気器具を使わない。

発熱により、火災の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電気製品を触らない。コンセントや電気製品に水をかけない。

感電や故障、漏電、ショートによる火災の恐れがあります。



発火注意

調理機器の使用後および外出時には、スイッチを切る。

周囲の可燃物に着火し、火災の原因になります。



発火注意

調理機器の上や周りには、燃えるものを置かない。

周囲の可燃物に着火し、火災の原因になります。



発火注意

**調理機器を使っているときは、その場を離れない。**

高温になりすぎて、火災の原因になります。



発火注意

**キャビネット内に電気コンロ、ガスコンロ、ガス炊飯器などの加熱機器を置いて使用しない。**

キャビネットが加熱され、火災の原因になります。



必ず実行

**キッチンに組み込まれている機器、市販の調理機器などは、商品に付属の説明書および商品本体に表示されている事項を守る。**

使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になります。



必ず実行

**吊戸棚本体がグラついたり、壁との間にすき間が空いているときは使用を中止する。**

吊戸棚が落ちたり、収納物が落下してケガをする恐れがあります。クリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

参照

アフターサービスのご用命 裏表紙



必ず実行

**扉が傾いていたり、ガタついているときは、丁番のねじを締め直す。**

扉が落ちたり、収納物が落下してケガをする恐れがあります。また、ねじがゆるんでいないことを定期的に確認してください。

参照

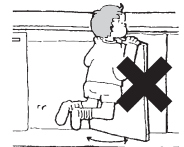
5.3. 開き扉・棚板 P.21～23

**注意****キッチン全体**

禁止

**取っ手、扉、引出し、棚などにぶら下がったり、体重をかけたりしない。**

破損し、ケガをする恐れがあります。



必ず実行

**引出しの取り外し、取り付け、調整、キャビネット内のお手入れをする場合は、引出しレールや部品などに十分注意して行う。**

手や指などにケガをする恐れがあります。



禁止

**ワークトップやキャビネット、扉、パネルなどに加工や改造をしない。**

故障や破損の原因になります。



必ず実行

**床面に油などが飛び散ったらすぐに拭き取る。**

足を滑らせて転び、ケガをする恐れがあります（コンパクト対面やフラット対面のダイニング側に注意してください）。



必ず実行

**カウンターの角部に頭や体をぶつけないように注意する。**

特に小さなお子様の場合、ケガをする恐れがあります。

**調理機器・組込機器類**

接触禁止

**調理中や調理直後は、調理機器周辺に手を触れない。**

やけどの恐れがあります。



**注意****シンク**

禁止

シンクにまな板を渡した状態で、カボチャなどの硬いものや切りにくいものを切らない。まな板をサポートプレートの上に置いてものを切らない。

まな板やサポートプレートがシンクから外れて、ケガをする恐れがあります。ワークトップ上で作業をしてください。



禁止

てんぷら油や多量の熱湯を、直接排水口に流さない。

排水器具などが変形し、水漏れの原因になります。また、排水管のつまりの原因になります。

**水栓**

必ず実行

混合水栓を使用する場合は、必ず水を先に出す。

湯を先に出すと、水栓および熱湯で、やけどをする恐れがあります。特に、お子様はご注意ください。

**キャビネット**

禁止

包丁差しを固定しているねじは外さない。

包丁の落下につながり、思わぬケガをする恐れがあります。



必ず実行

包丁差しの固定ねじがゆるんでガタつきが発生したときは、ねじを締め直す。

包丁差しが外れてケガをする恐れがあります。



必ず実行

包丁差込口に、確実に包丁を差し込む。

扉を開いたときに包丁が外れ、ケガをする恐れがあります。



禁止

包丁を無理に引っ張らない。

勢いよく包丁が抜け、ケガをする恐れがあります。



禁止

包丁を差したまま包丁差しや引出しのお手入れを行わない。

包丁の刃に触れ、ケガをする恐れがあります。お手入れは包丁を取り出してから行ってください。

## ●スライド収納



禁止

引出しを引き出したまま作業しない。

足をぶついたりして、ケガをする恐れがあります。



禁止

引き出した引出しを足場代わりにしない。

転倒によるケガや、商品の破損の恐れがあります。



注意

引出しを引き出す場合は、足元に注意して引き出す。また、他の作業員やお子様など、周囲の人にも注意する。

足の指をはさみ込んで、ケガをする恐れがあります。



必ず実行

シンク下の引出しやスライドボックスに収納する場合は、排水器具と接触しないように、収納物の高さに注意する。

接触すると、排水器具が破損する恐れがあります。





必ず実行

**コンロ下の引出しに収納する場合は、ガス栓(中間コック)と接触しないように、収納物の高さに注意する。**

接触すると、ガス栓が閉じたり破損したりする恐れがあります。

●開き扉、引出し



禁止

**開き扉開閉時は、丁番には触れない。**

丁番に指をはさむ恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。



禁止

**扉や引出しの開閉時は、ワークトップや扉の上部に手をかけない。**

ワークトップと扉の間に指をはさむ恐れがあります。



禁止

**扉を調整する場合は、ねじをゆるめすぎない。**

ねじをゆるめすぎると扉が落ちて、ケガをする恐れがあります。



禁止

**扉を大きく開けすぎない。また、勢いよく開けない。**

丁番が破損したり、扉が外れて、ケガをする恐れがあります。



注意

**開き扉の開閉時は足元に注意して開閉する。**

足先をはさみ込んで、ケガをする恐れがあります。

●棚板



必ず実行

**棚受けダボは確実に奥まで差し込む。**

棚板が落下して、ケガをする恐れがあります。

● 吊戸棚 ●

●コンパクトボックス



禁止

**コンパクトボックス天板の上にものを置かない。**

ものが落下して、ケガをする恐れがあります。



禁止

**鏡扉は、勢いよく開閉しない。また、引っ張ったりぶら下がったりするなど、無理な開閉はしない。**

鏡が割れ、ケガをする恐れがあります。



禁止

**鏡扉にフライパンなどを当てない。**

鏡が割れ、ケガをする恐れがあります。

## 2.1. 安全上の注意


**注意**

## 対面型キッチン



禁止

コンロ側が通路になっているレイアウトのキッチンは、鍋やフライパンなどの柄に手を引っ掛けないようにする。

鍋やフライパンなどが落下して、ケガややけどをする恐れがあります。



必ず実行

コンロ側が通路になっているレイアウトのキッチンは、調理機器付近から油などの飛び散りが想定される。床面に油などが飛び散ったら、すぐに拭き取る。

足を滑らせて、転んでケガをする恐れがあります。



必ず実行

ダイニング側のカウンター部に注意する。

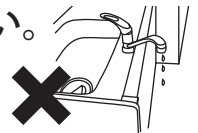
小さなお子様の場合、頭や顔などをぶつけてケガをする恐れがあります。



禁止

水栓の吐水パイプを過度に回し、シンク以外で吐水しない。

キッチンや床をぬらす恐れがあります。



禁止

コンパクト対面の場合、アルミ化粧カバーの上にものを置かない。

奥行きが浅いので、ものが落下し、ケガをする恐れがあります。



必ず実行

ダイニング側のバックパネルや床面に水などが飛び散ったときには、すぐに拭き取る。

変色、はがれ、ふくれなどの恐れや、床面の場合足を滑らせて転んでケガをする恐れがあります。

## ● フロントスクリーン、防熱板



禁止

ガラスに強い衝撃を与えない。また、硬いもの・鋭利なものを当てない。

傷がつくとガラスが割れてケガをする恐れがあります。特に端部への衝撃にはご注意ください。また、ガラスにできた傷が大きくなり破損することがあります。

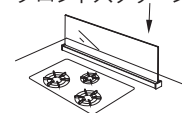


接触禁止

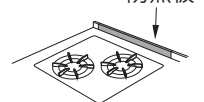
調理中や調理直後はフロントスクリーンや防熱板に手を触れない。

調理機器からの熱などで熱くなり、やけどの恐れがあります。

フロントスクリーン



防熱板



禁止

フロントスクリーンのガラスやフレームに寄りかからない。

ガラスが割れてケガをする恐れがあります。また、フレームが変形する恐れがあります。



禁止

万一、ガラスが破損（ひび、欠けなど）したときは、そのままの状態にしない。

破損部でケガをしたり、ガラスにできた傷が大きくなり全損につながる恐れがあります。ガラス破損時は、直ちにクリナップカスタマーセンターまで商品の交換を依頼してください。

参照

アフターサービスのご用命 裏表紙

●照明器具



**照明が取付器具に確実に取り付けられているか確認する。**

必ず実行

照明が脱落して破損し、ケガをする恐れがあります。



禁止

**点灯中や消灯直後(約 5 分間)は照明の表面が高温になっているので、素手で触らない。**

お手入れをする場合は照明のスイッチを切り、十分に冷えたことを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

洗剤



必ず実行

**台所で使われる洗剤・洗浄具・殺虫剤・防腐剤・その他薬品類は、それぞれの容器などに表示されている事項を守る。**

使い方を誤ると、人体に悪影響を及ぼしたり、キッチン本体や機器類が傷み、水漏れ事故や故障の原因になることがあります。



禁止

**台所には、固形または粉末の塩素系の洗浄剤（ヌメリ取り剤など）を使用したり、近づけたりしない。**

水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレスなどの金属やゴムの腐食、劣化およびサビを発生させ、水漏れにつながる場合があります。



禁止

**台所では成分表示のない洗剤類、台所以外の用途である洗剤類は使用しない。**

キッチン本体が傷み、水漏れ事故や故障の原因になることがあります。

2.2. 重量に関する規定



注意

収納アイテム



禁止

**収納アイテムに、収納物を無理につめ込まない。**

引出しや棚板の変形の原因になります。

●キャビネット、棚板



必ず実行

**キッチンの引出し、吊戸棚や各キャビネットへの収納は、下表の耐荷重以下として、収納物を均等に載せる。**

重量が限度を上回ったりかたよったりすると、棚板や引出しの破損につながったり、載せているものが落ち、ケガをする恐れがあります。

部位	耐荷重	
棚板一枚	20kg	
底板一枚*	20kg	
コンロ横引出し	2kg	
樹脂引出し	5 kg	
スライド収納引出し 1 段	20kg	
コンパクトボックス	棚板	5 kg
	底板	10kg

※縦に仕切り板が入っている場合でも、底板は一枚です。  
※対象部位は P.2 参照。

**MEMO** 20kg = 直径 26cm の大皿 25 枚以内が目安です。

### 3. キッチンの使い方

## 3.1. キッチン全体

### ● 使用上の注意

#### ● ステンレス部品



ぬれた包丁・塩・しょうゆ、または鉄製のタワシやステンレス以外の金属（缶詰など）を放置しない。

もらいサビを引き起こし、腐食して穴が開く恐れがあります。



ステンレス部品には、塩素系の洗剤は使用しない。

サビの原因になります。

#### ● 樹脂部品（人工大理石ワークトップ・プラスチック製品など）



樹脂部品に洗浄力の強い洗剤成分、または油煙などの油成分を付着したまま放置しない。

しみ、変色、ひびや破損の原因になります。必ず拭き取ってください。



樹脂部品に油脂類、シンナー、酸性の洗剤、塩素系やアルカリ性の洗剤などは使用しない。

ひびや破損の原因になります。

#### ● 開き扉・引出し・化粧板・棚板・取っ手・キャビネット



家具用ワックス、シンナー・ベンジンなどの有機溶剤、カビ取り剤などを使用しない。

変色、つやや光沢がなくなったり、塗装がはがれる原因になります。



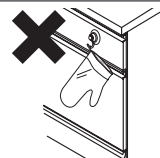
水をかけたまま放置しない。

表面のふくれの原因になります。必ずすぐに拭き取ってください。



開き扉・引出し前板やボードなどにテープや吸盤などを長期間取り付けたままにしない。

変色やはがれ、ふくれなどの恐れがあります。



開き扉・引出し前板やボードなどをメラミンフォームや金属タワシ、研磨粒子入り洗浄具などでお手入れしない。

変色、つやや光沢がなくなったり、塗装がはがれる原因になります。



必ず実行

キャビネット内に調味料、洗剤などを保管する場合は、必ず密閉し、液垂れしないようにする。

しみ、変色の原因になります。



注意

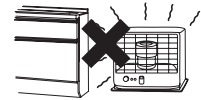
室内の温度や調理機器の使用時間・方法などによってコンロキャビネットおよび、隣接するキャビネットの庫内温度が上昇するので、収納物の保存には留意する。

温度変化によって劣化しやすい調味料や食材の保存や、長期保存は避けてください。保存にあたっては、調味料や食材に記載の保存方法に従ってください。



禁止

ストーブ・暖房器具などを近づけない。  
キャビネットや扉などの反りや変形の恐れがあります。



禁止

引出しは、取っ手の端部を持って開閉しない。  
扉がガタつき、引き出しにくい場合があります。



禁止

ギャラリパイプを持って引出しを脱着しない。  
故障する恐れがあります。



必ず実行

引出し内の左右のギャラリパイプよりも外側に収納物が出ないようにする。  
キャビネットや扉を傷つけたりする恐れがあります。



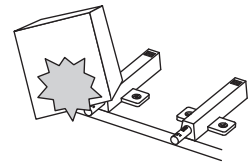
注意

ワークトップ上に炊飯器を置いて使う場合、吊戸棚・コンパクトボックスに直接蒸気がかからないように留意する。  
結露により水滴がつき、キャビネットの塗装がはがれたり、ふくらんだりする恐れがあります。水滴を乾いた布で拭き取ってください。



必ず実行

プッシュラッチを避けて収納する。収納物を取り出すときは、プッシュラッチに当たらないようにする。  
収納物が当たって、プッシュラッチが破損する恐れがあります。



### ●フロントスクリーン（ハイタイプ）



禁止

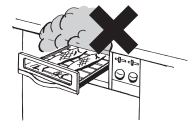
ダイニング側のガラス面にはガラスクリーナーを使わない。  
フロントスクリーン（ハイタイプ）のダイニング側のガラス面は飛散防止フィルム貼りです。変質・変色する恐れがあります。

### ●調理機器・組込機器類



禁止

調理機器のグリル扉を開けたまま、グリルを使わない。  
機器上部の変色やワークトップの焦げや破損、隣接する部材の変形などの恐れがあります。



## ●お手入れのしかた

キャビネット・ステンレス部品・樹脂部品・開き扉・引出し前板・棚板・取っ手

### 通常のお手入れ

・綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。

### 汚れた場合のお手入れ

・汚れは、薄めた中性洗剤をスポンジなどに含ませて落とし、水を含んだ布で洗剤を拭き取った後、乾いた布で乾拭きしてください。

### 注意

開き扉・引出し前板やパネル、樹脂部品などはメラミンフォームや金属タワン、研磨粒子入り洗浄具などでお手入れしないでください。変色・つやや光沢がなくなったり、塗装がはがれる原因になります。

### 調理機器・組込機器

各機器に付属の説明書をお読みください。

## 4.1. ワークトップ(カウンター類を含む)・シンク

## ● 使用上の注意

## ● ワークトップ (カウンター類) 共通



硫酸、塩酸などの強酸、「酸性」の表示のある洗剤、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使用しない。

変質、変色、サビの原因になります。



粒子の粗い、または研磨材含有量が多い(20%を超えるもの) クレンザー類や金属タワシなどで、表面をこすらない。

傷がつく恐れがあります。



塩素系やアルカリ性の洗剤・漂白剤を原液や高温で使用したり、長時間放置しない。

サビや変色の原因になります。また、上記洗剤はなるべく使用を控えてください。



ワークトップをまな板代わりに使用しない。

傷がつく恐れがあります。



強い衝撃を与えない。ワークトップに乗らない。

破損の原因になります。



ワークトップの上に熱い油鍋、沸騰したやかんなど、熱いものを直接置かない。

変色、変形、割れ、ふくれ(ステンレスワークトップの場合、裏面接着剤のはがれが原因)などの恐れがあります。置く場合は鍋敷き(厚さ1cm以上)などを使用してください。



ワークトップの継ぎ目には、熱いものや重いものを長時間放置しない。

反り、ゆがみ、ひび割れ、表面波打ちの原因になります。



ワークトップの上に水滴や汚れを残したままにしない。

水あかや汚れが落としにくくなります。こまめに拭くようにしてください。

## ● シンク共通



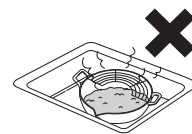
硬く鋭利なもの・砂・貝殻などを押し付けたり落としたりしない。

傷がつく恐れがあり、汚れが取りづらくなります。



熱湯を長時間流したり、頻繁に流さない。また、熱い油鍋をシンクの中に直接置かない。

変色、変形の恐れがあります。熱湯を流す場合は、水栓から水を流しながら行ってください。



シンクに多量の氷や、冷水を入れない。

シンクの裏面や、その周辺が結露して、収納物や引出しをぬらす恐れがあります。



塩素系やアルカリ性の洗剤・漂白剤を原液や高温で使用したり、長時間放置しない。

サビや変色の原因になります。また、上記洗剤はなるべく使用を控えてください。



固形または粉末の塩素系の洗浄剤(ヌメリ取り剤など)は使用しない。

腐食・サビの原因になります。



成分にケイ酸塩(オルトケイ酸ナトリウムと成分表示している洗剤)を含んだ洗剤は使用しない。

万一、誤って使用した場合は、シンクや排水口本体に残らないよう水できれいに洗い流してください。



シンクの上に水滴や汚れを残したままにしない。

禁止

水あかや汚れが落としにくくなります。こまめに拭くようにしてください。

### ●ステンレスシンク



粒子の粗い、または研磨材含有量が多い(20%を超えるもの) クレンザー類や金属タワシなどで、表面をこすらない。

禁止

傷がつく恐れや、表面のつやが変わる恐れがあります。

### ●人工大理石ワークトップ



還元水素水生成器・食器洗い乾燥機など、ゴム脚・樹脂脚がついているものやゴム製品を長期間設置しない。

禁止

接地面が変色してくることがあります。直接ワークトップに触れないよう、置き台などで工夫してください。



必ず実行

色の濃い食品(キムチ、カレー、紅茶、コーヒーなど)や汚れや色の濃いふきん類の染料、またはアルカリ性洗剤・洗浄剤が付着した場合は、すぐに洗う。

長時間放置すると落としにくくなります。

### ●サポートプレート



シンクにしっかり載せて使う。横にスライドさせない。

禁止

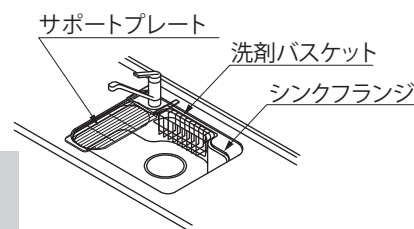
落下する恐れがあります。ワークトップにしっかり載せてお使いください。

## 使い方

### 洗剤バスケットの使い方

- ・ 洗剤バスケット内には、洗剤やスポンジなどを入れます。
- ・ 洗剤バスケットは取り外して洗うことができます。

**注意** 取り外すときは、洗剤やスポンジなどの収納物やプレートを取り外した状態で上に持ち上げてください。



### 洗剤バスケットの脱着

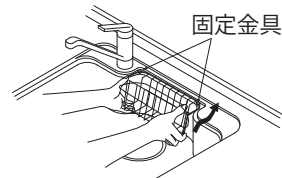
#### 取り外し方

洗剤バスケットの前面を持ち、奥側へ傾け、固定金具から外した状態で上に持ち上げる。

#### 取り付け方

取り外したときと逆の手順で、固定金具に取り付ける。

〈ステンレスシンク〉



### サポートプレート (間口 53cm 洗剤バスケット付シンク用) の脱着

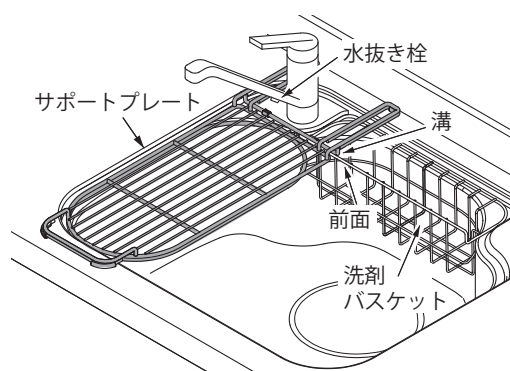
#### 取り付け方

サポートプレート裏面の溝を洗剤バスケット前面に差し込む。

#### 取り外し方

取り付けたときと逆の手順で、取り外す。

**注意** 水栓に水抜き栓がある場合は、サポートプレート脱着時に水抜き栓とぶつかる恐れがあるため、吐水口を回転させてから取り付けてください。



## 4.1.ワークトップ(カウンター類を含む)・シンク

## ● お手入れのしかた

## ステンレスワークトップ、ステンレスシンクのお手入れ

## 通常のお手入れ

- 水を含んだ布または中性洗剤をつけたスポンジで汚れを落としてください。洗剤を使った後は、水を含んだ布で洗剤が残らないようにきれいに拭き取ってください。最後に乾いた布で乾拭きをしてください。

**注意**

- 汚れを長時間放置すると、こびりついて落としにくくなります。こまめにお手入れしてください。
- ワークトップを部分的にお手入れすると、拭き取った部分に変色したように見える場合がありますが、変色ではありません。ワークトップ全体をお手入れするようにしてください。

## 落ちにくい汚れのお手入れ

- 中性洗剤をつけたメラミンフォーム、または粒子の細かい（研磨材 20%以下）クレンザー（液体クレンザーなど）を使用してください。仕上げは、通常のお手入れと同様に行ってください。

## クレンザー類について

- 粒子の粗いクレンザー類（研磨材 20%より粗いもの）は使用しないでください。傷がつく恐れがあります。

## 人工大理石ワークトップのお手入れ

## 通常のお手入れ

- 水を含んだ布または中性洗剤をつけたスポンジで汚れを落としてください。洗剤を使った後は、水を含んだ布で洗剤を拭き取ってください。最後に乾いた布で乾拭きをしてください。

**注意**

- シンクのつやのある箇所に落ちにくい汚れのお手入れを行った場合、周囲とつやの違いが生じる場合があります。
- 汚れを長時間放置すると、こびりついて落としにくくなります。こまめにお手入れしてください。
- 粒子の細かい（研磨材 20%以下）クレンザー類（液体クレンザーなど）を使う場合、ワークトップの目立たない部分で傷がつかないか確認してください。

## 落ちにくい汚れのお手入れ

- 中性洗剤をつけたメラミンフォームまたは粒子の細かいクレンザー（研磨材 20%以下の液体クレンザーなど）で円を描くように磨いてください。それでも落ちない場合は、研磨粒子入りの洗浄具（推奨品：住友スリーエム株式会社 スコッチ・ブライト 抗菌ウレタンスポンジたわしのナイロン不織布側（緑色側）、または 400 番くらいのサンドペーパーで円を描くように磨いてください。仕上げは、通常のお手入れと同様に行ってください。

## 人工大理石に傷がついたとき

- 傷がついた場合は、上記の落ちにくい汚れの場合と同様に磨いてください。
- 傷が取り切れない場合は、240 番くらいのサンドペーパーで磨いた後に、400 番くらいのサンドペーパーで円を描くように磨いてください。仕上げは、通常のお手入れと同様に行ってください。

**MEMO**

汚れや傷のお手入れをした箇所と、その周辺に光沢の違いが見られる場合は、液体クレンザーと水を含んだスポンジで、さらに全体を磨いてください。

- さらに深い傷や欠けが発生した場合は、お買い求めの販売店、またはクリナップカスタマーセンターまでご連絡ください。傷、欠けの状況によっては、修理ができない場合もあります。

**参照**

アフターサービスのご用命 裏表紙



## メラミンのお手入れ

- 通常の汚れの場合は、水を含んだ布または中性洗剤をつけたスポンジで汚れを落としてください。洗剤を使った後は、水を含んだ布で洗剤を拭き取ってください。最後に乾いた布で乾拭きしてください。
- 落ちにくい汚れの場合は、水を含んだメラミンフォームで軽く拭き取ってください。強く拭き取ると周囲とつやの違いが生じます。
- 手油汚れが気になる場合はキッチン用掃除シートで拭き取るときれいになります。

**注意** 研磨粒子入りの洗浄具、クレンザー、サンドペーパーを使用して磨くと、微妙なつやの違いが生じ、磨いた部分がうっすらと白くなりますので、お勧めしません。

**参照** お手入れスケジュール P.4

## 洗剤バスケットのお手入れ

- 通常のお手入れは、綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れは、ラックを外し、中性洗剤をスポンジまたは水を含んだ布につけて、強めに拭いてください。汚れが落ちたら、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、最後に乾いた布で乾拭きしてください。

**注意** 汚れがたまったまま放置しないでください。ステンレスシンクのサビの原因になります。

## 4. 調理アイテムの使い方

### 4.2. 排水口周り

#### 使用上の注意



必ず実行

**浅型カゴ、ゴミカゴは必ず取り付けて使用する。**

排水管に調理クズなどが流れ込み、排水管のつまりの原因になります。



必ず実行

**浅型カゴ、ゴミカゴにためたゴミは、こまめに捨てる。**

半日以上ためると、悪臭が発生する原因になります。



必ず実行

**浅型カゴ、ゴミカゴのお手入れは、必ず排水トラップ本体から取り外して行う。**

設置した状態で強い力を与えると、変形したり、傷がつく恐れがあります。



禁止

**防臭器は、通常使用時に取り外さない。**

排水管からの悪臭が発生します。排水トラップ本体のお手入れと高圧洗浄を行う際に取り外します。



禁止

**洗剤をステンレス部分に長時間放置しない。**

変色の恐れがあります。



禁止

**成分にケイ酸塩(オルトケイ酸ナトリウムと成分表示している洗剤)を含んだ洗剤は使用しない。**

万一、誤って使用した場合は、シンクや排水トラップ本体に残らないよう水できれいに洗い流してください。



禁止

**固形または粉末の塩素系の洗浄剤(ヌメリ取り剤など)は使用しない。**

腐食・サビの恐れがあります。



必ず実行

**塩素系やアルカリ性の排水パイプ用洗浄剤がシンク金属部に付着した場合は、すぐに十分な水できれいに洗い流す。**

サビや変色の原因になります。

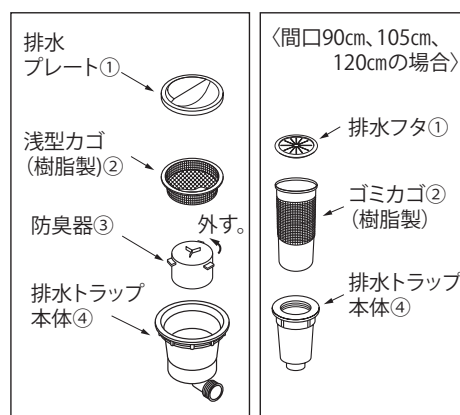
#### 使い方

##### 排水トラップの使い方

- 排水トラップは、右図の構成になっています。
- 排水トラップの役割は、封水することにより、排水管からの悪臭を防止し、防虫することです。

##### MEMO

- ゴミ処理およびお掃除の際は、排水プレート①～防臭器③の順序で取り外してください。防臭器③は、反時計回りに回すと取り外すことができます。
- 間口90cm、105cm、120cmの場合は、排水フタ①～ゴミカゴ②の順序で取り外してください。



#### お手入れのしかた

##### 部品ごとのお手入れ方法

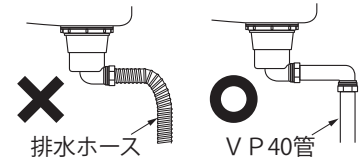
- 汚れは、中性洗剤(またはせっけん液)をスポンジまたは水を含んだ布につけて、強めに拭いてください。汚れが落ちたら、洗剤を水できれいに洗い流してください。
- 汚れがたまったらそのまま放置しないでください。悪臭の原因になります。
- 排水プレート①と浅型カゴ②、または排水フタ①とゴミカゴ②は、週に1回以上中性洗剤を使用して汚れを落としてください。

## 集合住宅などにおける集中洗浄（高圧洗浄）時の留意点

排水管洗浄業者による排水管の集中洗浄（高圧洗浄）をする場合は、下記に注意し、洗浄する業者と打ち合わせしてください。

- ・排水トラップ本体④に高い水圧をかけないでください。排水器具などが変形し、水漏れの原因になることがあります。
- ・集中洗浄（高圧洗浄）機についているホースは樹脂製を推奨します。
- ・高圧洗浄を行う場合は、排水プレート①、浅型カゴ（樹脂製）②、防臭器③（間口 90cm、105cm、120cmの場合は、排水フタ①、ゴミカゴ②）を取り外してください。防臭器③は反時計回りに回せば取り外せます。洗浄後は、防臭器③を時計回りに回して取り付けてください。

**注意** 排水ホースで接続されている場合は、高圧洗浄はできません。VP管などで直管配管している場合のみ高圧洗浄が可能です。



## 排水パイプ（ホース）のお手入れ方法

### 週1度のお手入れ

防臭器③（間口 90cm、105cm、120cmの場合は、排水フタ①～ゴミカゴ②）を取り外し、洗い桶に 1～2 杯（5～10ℓ）のぬるま湯をため、台所用中性洗剤を混ぜて薄めた後、勢いよく流す。

### 月1度のお手入れ

排水プレート①、浅型カゴ②、防臭器③（間口 90cm、105cm、120cmの場合は、排水フタ①、ゴミカゴ②）を取り外し、排水パイプ用洗剤を、直接排水パイプ（ホース）に注ぎ、洗浄してください。洗浄後は、十分に水を流してください。

**注意** ・必ず使用前に、排水パイプ用洗剤の使用法・注意をお読みください。  
 ・万一、使用不可の洗剤を誤って使用した場合やシンクやワークトップに洗剤が付着した場合は、すぐに十分な水できれいに洗い流してください。サビや変色の原因になります。

## 洗剤

使用判断	種類	液性・成分・材質	使用制限内容および調理アイテムへの影響	洗剤名・洗浄具名（参考事例）
○ 使用できるもの	洗剤類 台所用洗剤	中性・弱アルカリ性・弱酸性洗剤		
△ 条件付で 使用できるもの	排水パイプ用 排水パイプ用洗剤	塩素系のアルカリ性洗剤	・月1度のお手入れのみ使用する。 ・長時間接触による固着・変色の恐れ。 ↓ ステンレス・人工大理石に付着した場合は、すぐに十分な水で洗い流す。	塩素系のアルカリ性洗剤
× 使用不可	排水パイプ用 排水パイプ用洗剤	ケイ酸塩 （「オルトケイ酸ナトリウム」と成分表示している洗剤）	長時間接触による固着・変色の恐れ。	オルトケイ酸成分洗剤
	その他	排水口洗剤 固形または粉末の塩素系の洗剤（ヌメリ取り剤など）	腐食・サビの恐れ。	ヌメリ取り剤
		トイレ用洗剤など 酸性の洗剤（塩酸・硫酸・フッ酸などの強酸、研磨材入りの酸性の洗剤）	サビ・変色の恐れ。	酸性の洗剤
	業務用洗剤	業務用洗剤	長時間接触による固着・変色の恐れ。	業務用洗剤

## 5.1. 包丁差し

### ● 使用上の注意



必ず実行

**包丁は水気をよく拭き取ってから収納する。**

ぬれたまま収納すると、扉や引出しが変形・腐食する恐れがあります。



必ず実行

**確実に包丁を差し込む。**

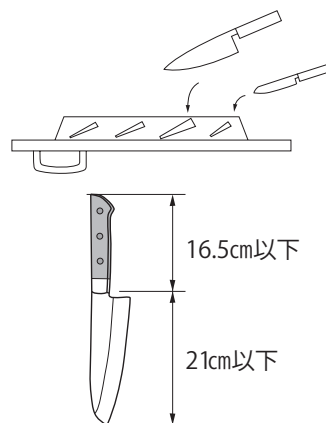
扉を引き出したときに包丁がガタつき、思わぬケガをする恐れがあります。

#### 収納できる包丁の本数・大きさ

- 包丁を4本収納できます。包丁差し込み口は、3タイプあります。出刃包丁などの刃の厚さがある包丁は、厚さの太い方（右から2つめ）に収納してください。小さい果物ナイフなどは、厚さの薄い方（右端）に収納してください。
- 包丁は、右図のように全長 37.5cm以下、柄の長さ 16.5cm以下、柄の下端から刃の先まで 21cm以下のものが収納できます。

**注意**

包丁の形状によっては、上記の寸法を満たしていても収納できない場合があります。



## 5.2. キャビネット（引出し）

### ● 引出しの脱着のしかた

**注意**

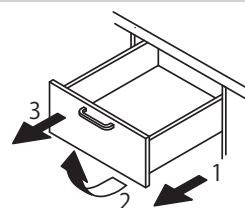
引出しを外すときは、収納物を出してから外してください。予想以上に重い場合があります。

**取り外し方**

引出しをストップするところまで引き出し、持ち上げながら引く。

**取り付け方**

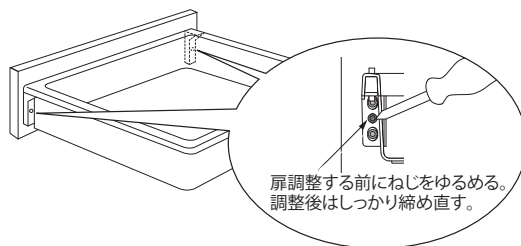
上記取り外し方と逆の手順で取り付ける。



### ● 前板の調整のしかた

#### 樹脂引出しの場合

- 引出し外側の引出し前板を固定しているねじを、⊕ドライバーでゆるめ、引出し前板を調整する。
- 調整後、1. でゆるめたねじを締め直す。



**注意**

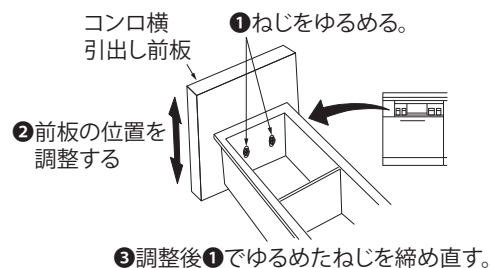
ねじのゆるめすぎには気を付けてください。引出し前板から落下して、ケガをする恐れがあります。

## 5. 収納アイテムの使い方ーキャビネット

### 5.2. キャビネット (引出し)

#### コンロ横引出しの場合

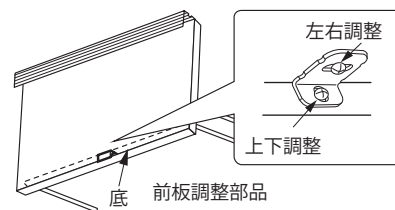
コンロ横引出し前板を固定しているねじは長穴になっていて、前板の上下調整をすることができます。ねじをゆるめて調整してください。その後、必ずねじを締め直してください。



#### スライド収納引出しの場合

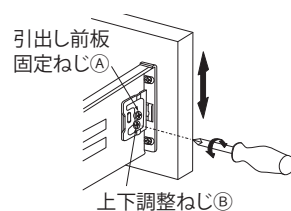
前板裏面と引出し底板に前板調整部品がついている場合は、ねじをゆるめてから下記の手順で調整を行い、調整後は必ずねじを締め直してください。

**注意** ねじをゆるめすぎないでください。引出し前板から落下して、ケガをする恐れがあります。



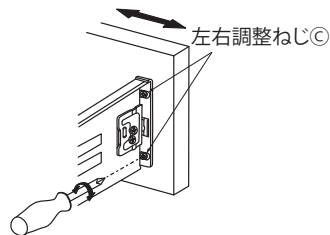
#### ●上下調整

1. 引出し両側面にある引出し前板固定ねじ①を、⊕ドライバーでゆるめる。
2. 上下調整ねじ②で引出し前板の位置を調整する。
3. 引出し前板固定ねじ①を締め直す。



#### ●左右調整

1. 引出し両側部にある計4本の左右調整ねじ③を、⊕ドライバーでゆるめる。
2. 引出し前板の位置を調整する。
3. 4本の左右調整ねじ③を締め直す。



- 扉の左右両端とキャビネットの外側との間隔が1mm以上になるよう左右調整してください。
- 扉面とキャビネットが平行になるように調整してください。

**注意** ・扉を調整する場合は、ねじのゆるめすぎには気をつけてください。ねじをゆるめすぎると扉が落ちて、ケガをする恐れがあります。  
・コンロキャビネットの引出しは、コンロと接触しないように調整してください。コンロと扉が干渉して、傷の原因になります。

## 5.3. 開き扉・棚板

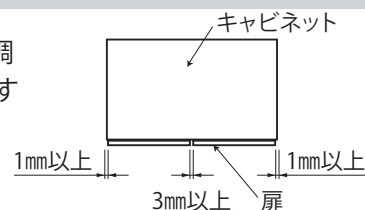
### ● 使い方

#### 開き扉の調整のしかた

- 調整前に丁番、座のゆるみがないことを確認してください。ゆるみがある場合は、丁番と座を取り付けているねじをしっかりと締め付けてください。

**注意** ねじをゆるめすぎないでください。ねじをゆるめすぎると扉・鏡面扉が落下して、ケガをする恐れがあります。

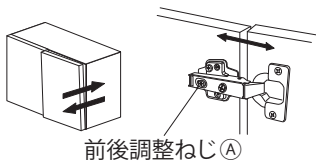
- 扉の左右両端とキャビネットの外側との間隔が1mm以上になるよう左右調整してください。また、左右両開き（観音開き）扉の場合は、扉と扉のすき間が3mm以上になるようにしてください。
- 扉面とキャビネットが平行になるように調整してください。



# 5. 収納アイテムの使い方ーキャビネット

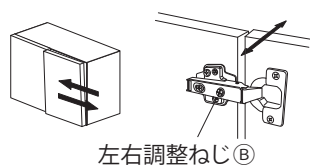
## 5.3. 開き扉・棚板

### ●前後調整



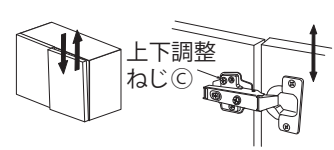
ねじ①を左に回すと扉が前に、右に回すと扉が後に動きます。

### ●左右調整



ねじ②を右に回すと扉が外側に、左に回すと扉が内側に動きます。

### ●上下調整



ねじ③をゆるめて扉を上下に調整した後、調整ねじ③を締め直します。

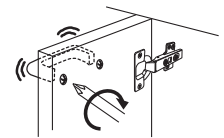
### 丁番のお手入れ

- ・ 丁番はときどき汚れやほこりを取り除いてください。
- ・ 潤滑油などをときどき注油していただくと、開閉がなめらかになります。

**注意** 潤滑油などが扉などにつかないように気をつけてください。扉などに油がしみ込み、変色する恐れがあります。

### 取っ手の調整のしかた

取っ手のねじがゆるんだときは、⊕ドライバーでねじを締め付けてください。

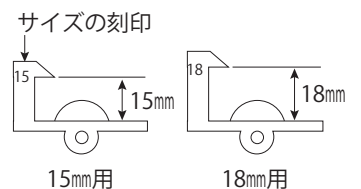
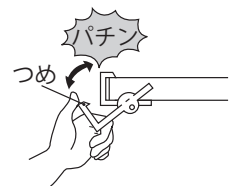


### 棚板の脱着

#### 取り外し方

1. 前側の左右の棚受けダボのつめ部分を、棚板を押さえながら、“パチン”と音がして外れるまで、手前へ強く引く。
2. 棚板を前へ引いて取り外す。

**注意** 棚受けダボは、棚板の厚さ（15mm、18mm）によってサイズが異なります。必ず棚板と組み合わせて使用、保管してください。棚受けダボのサイズは、ダボ横に刻印されています。

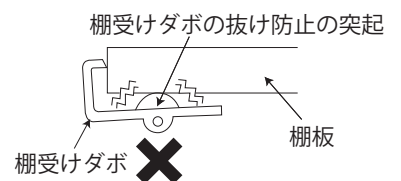


#### 取り付け方

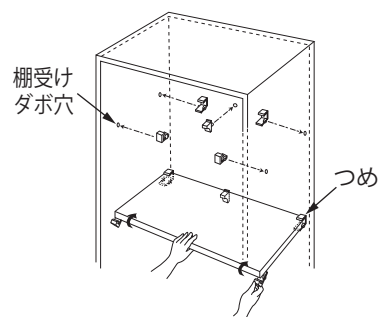
1. 図のように、棚受けダボを棚受けダボ穴に根元まで差し込む。

幅の大きい棚板は、キャビネット背板の中央部分にも棚受けダボがあります。

**注意** ・ 差し込みが浅いと、棚板が棚受けダボの抜け防止の突起部分に当たり、棚受けダボが破損する恐れがあります。  
・ 棚板をセットするときは、棚受けダボにある「抜け防止の突起」を変形させないでください。棚板のガタつきの原因になります。



2. 後ろ側の棚受けダボのつめに、棚板をしっかりとめ込む。
3. 棚板を押さえながら、前側の棚受けダボを下から強く押し上げる。つめが棚板にはめ込まれ、“パチン”という音がするまで押し上げてください。
4. 棚板にガタつきがないか、確認する。  
ガタつきがある場合は、取り付け直してください。

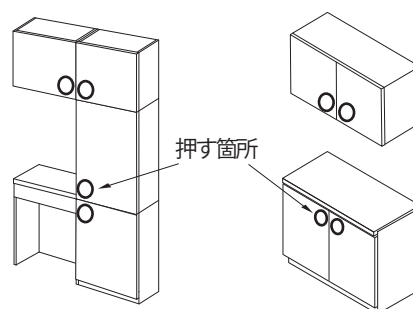


## 扉開放防止部品（オプション）の使い方

- 扉開閉防止部品は、地震などの揺れにより、ロック機構が動き、扉が開かなくなります。使用環境、または状況など（建物の構造・階数、吊戸棚の収納状態、振動の大きさ・性質）により、性能を十分に発揮できない場合がありますので、ご注意ください。なお、収納物の破損などの損害については、補償の対象になりません。
- 地震が終わり、揺れが止まると、自動的にロックが解除されます。ただし、収納物が扉を押した状態でロックされたままになっている場合は、収納物が破損しないように扉を奥へ静かに閉めてください。
- 扉を開ける際は収納物が出てくることもありますので、ご注意ください。

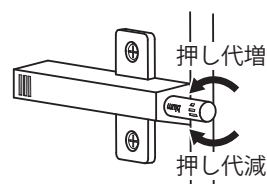
## プッシュラッチの使い方

右図の○付近を押すと、扉が開きます。押した箇所によっては、開かない場合もあります。



## プッシュラッチの調節のしかた

- プッシュラッチの先端を回転させることによって、扉の押し代を調整することができます。
- プッシュラッチの先端を正面から向かって反時計回りに回すと、扉の押し代が増えます。時計回りに回すと扉の押し代が減ります。



## 6. 収納アイテムの使い方ー吊戸棚

### 6.1. コンパクトボックス

洗顔、整髪、コンタクトレンズの装着などができるように鏡扉になっています。

#### ● 使用上の注意



禁止

**ぬれたものを収納しない。**

扉やキャビネットのふくれの原因になります。



必ず実行

**コンタクトレンズ用品、化粧品、クレンジングフォームなどがついたら、スポンジか柔らかい布に中性洗剤を含ませて拭き取る。**

扉やキャビネットの変質、変色の恐れがあります。



禁止

**鏡扉を開けたまま、洗顔などをしない。**

頭などをぶつけてケガをする恐れがあります。



禁止

**研磨材入りの洗剤・研磨粒子入りの洗浄具（不織布など）やタワシは使用しない。**

擦り傷、引っかき傷がつく恐れがあります。



禁止

**強酸性、強アルカリ性の液（トイレ洗浄剤・カビ取り剤など）、アンモニア系、シンナー、ベンジンなどの揮発系物質は使用しない。**

鏡の表面、鏡の銀が腐食、変質、変色する恐れがあります。

#### 鏡のお手入れ

汚れは、綿などの柔らかい布にガラスクリーナーを含ませて落とし、水を含んだ柔らかい布で洗剤を拭き取った後、乾いた布で乾拭きしてください。

#### 注意

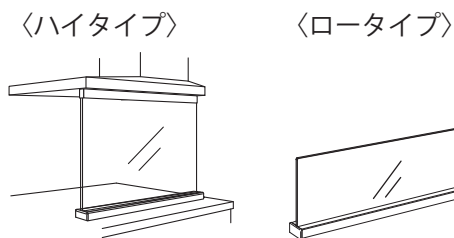
- ・ガラスクリーナーを使う場合は、あらかじめ目立たないところで変質、変色しないことを確認してください。
- ・鏡に洗剤（ガラスクリーナーを含む）、洗浄剤を直接ふりかけないでください。鏡裏面に侵食し、鏡の銀が腐食、変質、変色する恐れがあります。



## 7. その他の部材

### 7.1. フロントスクリーン

フロントスクリーンは、コンロから発生した油や煙がダイニング側へ流入するのを軽減します。



#### ● 使用上の注意



禁止

**金属タワシや粒子の粗いクレンザーでこすらない。**  
傷がつく恐れがあります。

#### ● お手入れのしかた

- 汚れは、中性洗剤をスポンジまたは水を含んだ布につけて洗ってください。洗った後は、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、その後、乾いた布で十分に水気を拭き取ります。
- フロントスクリーン（ハイタイプ）のダイニング側のガラス面は飛散防止フィルム貼りです。キッチン側のガラス面に比べ傷がつきやすいため、清掃時は気を付けてください。汚れた場合は、傷を避けるため、ほこりなどは柔らかいハケで払い落とし、綿などの柔らかい布で拭いてください。

### 7.2. CA ボード

#### ● 使用上の注意



禁止

**テープ類や吸盤を取り付けない。**  
はがすときに、表面シートがはがれる恐れがあります。



禁止

**強い衝撃を与えない。また、硬いもの・鋭利なものを当てない。**  
傷などの損傷が生じる恐れがあります。



禁止

**粒子の粗い、または研磨材含有量が多い（20%を超えるもの）クレンザー類や金属タワシなどで、表面をこすらない。**  
傷がつく恐れがあります。



禁止

**家庭用ワックス、漂白剤、硫酸・塩酸などの強酸、シンナー・ベンジンなどの有機溶剤を使用しない。**  
変色の原因や塗装がはがれる原因になる場合があります。

#### CA ボードのお手入れ

- 通常のお手入れは、綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れは、薄めた中性洗剤をスポンジなどに含ませて落とし、水を含んだ柔らかい布で洗剤を拭き取った後、乾いた布で乾拭きしてください。
- ボード間の目地は、ゴミや油がつきやすいため、こまめに汚れを拭き取ってください。

## 8. こんなときは

### 8.1. Q & A

#### Q. 排水の流れが悪いです。

A. 次の点をご確認ください。

- ・シンクの浅型カゴまたはゴミカゴにゴミがたまっていませんか？
- ・シンクの排水口周りが汚れていませんか？お手入れについては以下のページを参照してください。

**参照** 部品ごとのお手入れ方法 P.18

- ・排水管が汚れていませんか？集合住宅などで行う排水管洗浄については以下のページを参照してください。

**参照** 集合住宅などにおける集中洗浄（高圧洗浄）時の留意点 P.19

#### Q. 排水口が臭います。

A. 防臭器が汚れていませんか？お手入れについては以下のページを参照してください。

**参照** 部品ごとのお手入れ方法 P.18

#### Q. 排水口から「ゴボゴボ」音がします。

A. 流れる水の量が多いと、空気を巻き込んで音がすることがあります。異常ではありません。

#### Q. 開き扉がガタつきます。

A. 取っ手、または丁番や座を取り付けているねじがゆるんでいませんか？ねじがゆるんでいる場合は、⊕ドライバーで締め直してください。

#### Q. 引出しがきちんと閉まりません。

A. 隣接するキャビネットの引出し前板が当たっている場合は、引出し前板を調整してください。

**参照** 前板の調整のしかた P.20～21

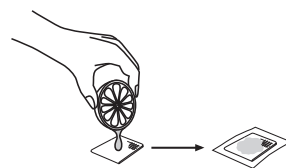
#### Q. 害虫（ゴキブリ）が入ってきます。

A. ゴキブリは小さなすき間でも侵入できます。虫が好む環境（暗部、湿気、食べ物）をなるべくなくしましょう。

- ・食器などの後片付けは水滴を拭き取ってから収納する。
- ・開封した食品は樹脂容器などに入れる。
- ・ときどき扉を開放して換気する。

#### Q. ステンレスにもらいサビしてしまったらどうしたらいいですか？

- A. ①サビた部分に小さく折りたたんだキッチンペーパーを載せて、その上からレモン汁を十分に含ませます。
- ②レモン汁が蒸発しないように、ラップフィルムをかけて放置します。軽いサビなら1日程度で除去できます。



#### Q. ステンレスに落ちにくい汚れ（水あかなど）がついてしまったらどうしたらいいですか？

A. お手入れについては以下のページを参照してください。

**参照** ステンレスワークトップ、ステンレスシンクのお手入れ P.16

#### Q. コンロやレンジフードなどのお手入れ方法が知りたいです。

A. 機器関連商品については、それぞれ付属の説明書をご覧ください。

#### Q. シンクやカウンターの裏面が結露をおこしてキャビネット内に水滴が落ちてしまいます。また、キャビネット内やカウンター裏面にカビも発生しています。何か対策はありますか？

A. シンクやカウンター裏面の結露は、室内が高温多湿の状態、冷たい水によりシンク表面が冷やされ、空気中の水蒸気が付着する現象です。ぬれた部分やカビは拭き取り、キャビネット内の換気、市販の除湿剤を用いて湿気の除去を行ってください。

# 保証書

◎ キッチン用

シリーズ・品番	コルティ			出張修理	
保証期間	取付・設置日から2年間	★取付・設置日	年	月	日
★お客様	ご住所	見本 ( )			印
	お名前				
★販売店	住所 店名	TEL ( )	またはサイン		



## 無料修理規定

★印欄に記入がない場合は、商品に貼付されている検査済証に記載のロットNo.などから確認できる製造年月日により、保証期間の開始日を認定させていただきます。

本保証書は、取付・設置日から本保証書に明示した期間中故障が発生した場合には、無料修理規定の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。  
保証期間中は無料修理になりますので、修理に際しては必ず本保証書をご提示ください。
- 修理が保証期間中の無料修理に該当するかどうか、また、アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご転居の場合の修理依頼先は、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。

- (1) 使用上の故意・過失または不適切な修理や、改造による故障および損傷。
- (2) 消耗部品(照明の管球、グローランプ、パッキンなど)の取り替えや修理、ストレーナーのゴミづまりなどによる故障および損傷。
- (3) お買い上げ後の取付・設置場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
- (4) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)による故障および損傷。
- (5) 車両、船舶などに取付・設置された場合に生じる故障および損傷。
- (6) 仕上げの傷などで、お引き渡し時に申し出がなかったもの。
- (7) 瑕疵によらない自然の損耗、サビ、カビ、変質、変色、その他類似の事由による場合。
- (8) 維持管理の不備による汚れ、サビ、給水管、排水管のつまりなどの不具合。  
例えば、塩素系の洗剤、漂白剤、ヌメリ取り剤の使用によるシンク、カウンターのサビや腐食。
- (9) 第三者による管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合。  
例えば、ハウスクリーニング業者が指定の洗剤以外のクリーニング剤を使用してシンク、カウンター、扉などに変色や腐食が生じた場合、また、禁止されている方法で洗剤などを噴霧あるいは塗布したことによって機器の作動不良が生じた場合。  
ならびに、浄化槽や洗剤から発生するガスによるシンクや金属部品の腐食。
- (10) タバコの火、商品を傷める薬品(有機溶剤、塩素系洗剤、強酸、強アルカリ性洗剤など)の使用により、発生した損傷。
- (11) 犬・猫・鳥・鼠などの小動物や虫などの害に起因する故障および損傷。
- (12) 取付・設置説明書に記載された方法以外の取付・設置、または工事内容に起因する故障および損傷。
- (13) 建築躯体の変形(強度不足、ゆがみ)など商品以外の不具合に起因する故障および損傷。
- (14) 異常電圧や指定外の燃料・電源(電圧・周波数)の使用および異常水質による故障および損傷。
- (15) 契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合。
- (16) 一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障および損傷。
- (17) 取付・設置完了後、引き渡し日までの間の管理などの不備による故障および損傷。
- (18) 保証期間経過後に申し出があった、もしくは、保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかった故障および損傷。
- (19) 本保証書のご提示がない場合。
- (20) 本保証書に取付・設置年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合(領収書などで左記内容がわかる場合はその限りではありません)、あるいは字句を書き換えられた場合。
- (21) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費。

5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

6. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※お客様にご記入いただいた個人情報、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※本保証書は、明示した期間、条件の基において無料修理をお約束するものです。

したがって、本保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※修理記録(年月日、修理内容、修理者名など)については、修理の際に修理伝票をお渡しいたしますので、大切に保管してください。

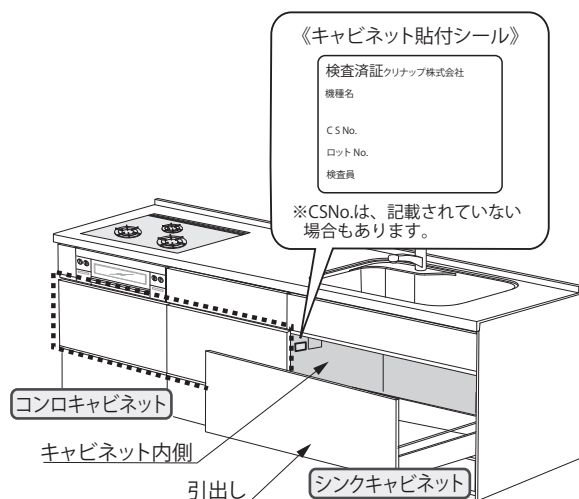
ご相談窓口： クリナップカスタマーセンター TEL 0120-126-174

**クリナップ株式会社**  
〒116-8587 東京都荒川区西日暮里 6-22-22

## 修理の依頼について

この取扱説明書をよくお読みの上、再度点検して異常のあるときは、工事店・販売店、または下記のクリナップカスタマーセンターまでご依頼ください。

また連絡する際は、お名前、ご住所、お電話番号、ご購入年月日、症状およびシンクキャビネット引出しを開け、キャビネット内側をご確認いただき、貼付してある検査済証の機種名・CSNo.・ロットNo.もあわせてお知らせください（シンクキャビネットで確認できない場合は、下図の[ ]のコンロキャビネットなど、ほかのキャビネットの内側でも確認できます）。



《お客様メモ》アフターサービスのご連絡に便利です。

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	☎

## 廃棄処分のしかた

この商品を廃棄処分する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

## アフターサービスのご用命

- ご使用にあたってご不明な点や、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または下記クリナップカスタマーセンターまでお問い合わせください。

- お電話でのご用命

☎0120-126-174

クリナップカスタマーセンター

通話料  
無料

- インターネット窓口(クリナップホームページ内)

<https://cleanup.jp/support/>

☞ 右の2次元コードで[お客様サポートサイト]へ



受付時間 9:00～17:00

- \*9:00～11:00および12:00～13:00は混みあいます。
- \*年末年始はお休みさせていただきます。
- \*諸般の事情により営業日、受付時間が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- \*インターネット窓口では、Q&A(よくあるご質問)をご紹介します。
- 修理、お問い合わせは専用ページでも受付しております。

お電話は、内容の確認と商品機能やサービスの質の向上などを目的として、記録・録音させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。なお、個人情報保護方針は<https://cleanup.jp/>に公表しております。

### レンジフードフィルターなどの 訪問販売に関するご注意

クリナップの名前をかたって、レンジフードの交換用フィルターなどを訪問販売したり、電話で注文を取ろうとする業者がありますが、当社とは一切関係ございませんので十分ご注意ください。

クリナップ株式会社

〒116-8587 東京都荒川区西日暮里 6-22-22